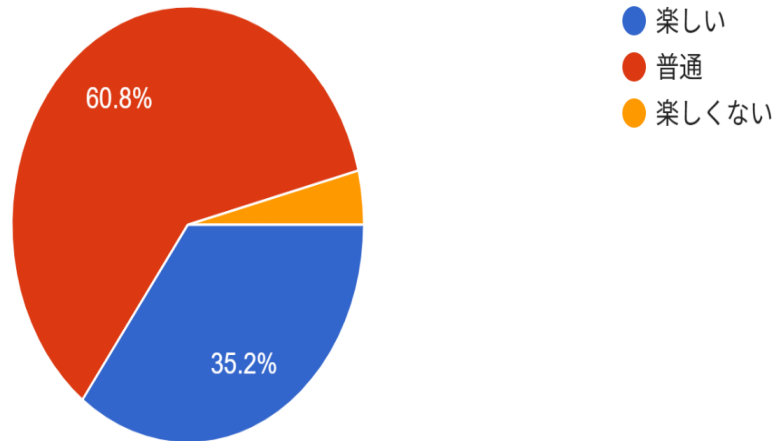


1 あなたは学校が楽しいか？

125 件の回答



2 あなたが思う「楽しい学校」とは？

★ 人間関係が良い

- いじめがない
- みんなが仲良し
- 男女関係なく友情がある
- 差別がない
- 優しい人が多い
- みんなと気軽に話せる
- 協調性や思いやりがある

😊 笑顔と楽しさがあふれる

- 笑顔がいっぱい
- 冗談を言い合える
- 楽しく会話できる
- 明るくて賑やか
- 毎日楽しい思い出ができる

🗣️ コミュニケーションがしやすい

- みんなで協力できる
- 困ったとき助け合える
- 周りとしっかり話ができる
- 先生も話を聞いてくれる

自由・安心できる環境

- 校則がゆるい、またはなし
- スマホが使える
- 縛りが少ない
- 自分の意見が言える
- ゆとりがある
- 安心して過ごせる

行事・活動が充実している

- 文化祭、クラスマッチ、イベントがある
- 部活動がある
- 友達と一緒に活動できる
- 青春を味わえる

学びや生活の自由度

- 授業が選べる
- 好きな教科がある
- 就職に向けた活動ができる
- 豊かな生活が送れる

【AAIまとめ】私が思う楽しい学校とは、いじめや差別がなく、みんなが仲良く笑顔で過ごせる場所です。自由があり、自分の意見も言えて、友達と協力してイベントや部活を楽しめる学校だと思います。

3 それはどうすれば実現できるか？

1. ルールやマナーを守ること

- 「一人ひとりがルールを守る」「マナーを守る」「廊下で騒がない」「危険をなくす」など
→ みんなが安心して過ごせる環境づくりのために、基本的なルールを守ることが大切という意見が多くありました。

2. 仲良くする・いじめをなくす

- 「みんなと仲良く」「いじめをなくす」「喧嘩をしない」「悪口を言わない」など
→ 人間関係をよくするためには、お互いに思いやりを持つこと、困ったら相談できる環境も大事です。

3. 笑顔や元気な雰囲気づくり

- 「笑顔」「笑える学校」「明るく元気」「ふざけて笑わせる」など
→ 笑顔が増えると、学校全体の雰囲気がよくなるという意見もたくさんあります。

✓ 4. 積極的に話す・コミュニケーションをとる

- 「積極的に話しかける」「みんなと交流する」「他学年との交流」「後輩と話す」など
→ 友達を作る、孤立しないようにするために、話しかける勇気や交流の場が大切という意見がありました。

✓ 5. 一人一人の意見を大切にする

- 「皆の意見を取り入れる」「アンケートをとる」「一人一人を尊重する」など
→ 生徒の声を大事にして、みんなが「自分もこの学校をつくってる」という気持ちを持てることが重要です。

✓ 6. 学校の環境や制度の工夫

- 「スマホOKにする」「休み時間を伸ばす」「自販機・売店を設置」「選択授業」「イベントを増やす」など
→ みんながもっと楽しく、自由に過ごせる学校にするためのアイデアもたくさん出ていました。

✓ 7. 学びや授業の工夫

- 「楽しい授業」「みんなで楽しめる授業」「道徳の授業を増やす」「テストなし」「教育方法の工夫」など
→ 勉強を「つまらない」と感じさせずに、楽しく学べるようにする意見もありました。

✓ 8. 思いやり・助け合いの心

- 「思いやり」「少し気を使う」「無理なく人助け」「困ったときは相談」など
→ 周囲に優しく、気を配れるようになることも、みんなが過ごしやすい学校づくりに欠かせません。

まとめ

たくさんの意見の中に共通していたのは、
「一人ひとりの行動・思いやり・協力」が学校の楽しさをつくる、ということです。

4 みんなが楽しい学校をつくるために自分にできることは？

✓ 1. まずは自分からルールやマナーを守る

- 「自分もルールを守る」「簡単なルールを少しずつ守る」「暴言・暴力をしない」
- 「喧嘩しない」「いじめをしない」「規則正しい生活をする」

➡ 学校の雰囲気は、一人ひとりの行動で変わります。自分が見本になることで、まわりにもよい影響を与えることができます。

✓ 2. 積極的に話しかける・コミュニケーションをとる

- 「積極的に話しかける」「たくさん話す」「相談にのる」「声掛け・挨拶をする」
- 「友達との関係を大切にする」「いろんな人と関わる」「人見知りの子にも話しかける」

⇒ 話しかける勇気や、小さな会話の積み重ねが「孤立をなくす」第一歩です。

✓ 3. 困っている人を助ける・周りに気を配る

- 「困っている人を手伝う」「嫌なことをしない」「相手が傷つくことを言わない」
- 「空気を読む」「気持ちのよい生活を心がける」

⇒ 思いやりや気遣いがあれば、安心して過ごせる学校になります。

✓ 4. 話し合いや提案・行動を起こす

- 「アンケートをとる」「話し合いをする」「先生や生徒会に提案する」
- 「意見箱を設置」「校長先生に相談」「自分から動く」

⇒ 自分の意見を伝えたり、みんなの意見を集めたりして、学校づくりに参加する姿勢がとても大切です。

✓ 5. 学校行事やイベントに協力する・アイデアを出す

- 「行事の企画を考える」「レクリエーションを増やす」「ポスターを作る」
- 「スポーツ大会・光陽祭のアイデア」「キッチンカーの提案」「授業内容の工夫を提案」

⇒ 楽しい学校をつくるには、自分もその場を盛り上げる一員になることがポイントです。

✓ 6. 笑顔・明るさで周囲を元気にする

- 「笑う」「明るくする」「笑顔を届ける」「楽しくさせる」

⇒ 笑顔はまわりに伝染します。雰囲気をも明るくする力になります。

✓ 7. いじめ・トラブルに向き合う勇気

- 「いじめを止める」「注意したいけど勇気が出ない」
- 「面倒なことになりたくないけど、やれることはある」

⇒ 勇気があるけれど、見て見ぬふりをしないという姿勢が、とても大切です。無理せず、信頼できる大人に相談するのも立派な行動です。

まとめ

私が楽しい学校をつくるためにできることは、まず自分がルールやマナーを守り、笑顔で周りの人に接することです。また、友達や後輩に積極的に話しかけたり、困っている人がいれば手助けしたいと思います。

さらに、学校をもっと良くするために、意見を出したり話し合ったりして、行事や環境づくりにも参加していきたいです。

5 皆さんから寄せられた意見には、「今の校則で良い」と感じている人もいれば、「もう少し自由にしてほしい」と思っている人も多くいることが分かりました。以下に、意見をいくつかのテーマに整理して紹介します。

✓ 1. 「今のままでいい・特に不満はない」

- 「特になし」「良いと思う」「今のままで大丈夫」「ちょうどいい」
- 「校則のおかげで安全に生活できていると思う」
- 「寄宿舎のルールは自由で面白い」「前より良くなっていると思う」

⇒ 校則に対して特に問題を感じていない人も多く、現在の校則が一定の安心感を与えていることがうかがえます。

✓ 2. 「校則が厳しすぎる・細かすぎる」

- 「厳しい」「きつい」「細かくて多すぎる」
- 「自由が少ない」「ルールが多すぎてついていけない」
- 「寄宿舎の校則をもっと自由にしてほしい」

⇒ 校則の多さや厳しさを負担に感じている生徒もいます。

✓ 3. 「スマホに関する校則をゆるくしてほしい」

- 「スマホ使用を校内でもOKにしてほしい」
- 「スマホのルールが厳しい」「休憩中は使いたい」
- 「スマホを使わせてほしい」「スマホ校則を改善してほしい」

⇒ 多くの生徒が「スマホの使い方」に関する自由を求めています。特に休憩中や学習の補助としての使用が希望されています。

✓ 4. 「服装や髪型の自由を求める声」

- 「髪型を自由にしてほしい(ツーブロ・おろすなど)」
- 「白い靴下じゃなくてもいいようにしてほしい」
- 「制服じゃなくてもいい」「私服にしてほしい」
「メイク(ナチュラル)はOKにしてほしい」
- 「パーカーも着たい」「スカートの丈のルールを緩くしてほしい」

⇒ 見た目や自己表現に関して、もう少し柔軟な対応を望んでいる生徒が多数いました。

✓ 5. 「登校時の服装や靴に関する意見」

- 「運動靴・スニーカーを自由にしたい」
- 「ローファー以外も選べるようにしたい」
- 「スニーカー登校を許可制じゃなく自由にほしい」

⇒ 快適な登校のために、靴の選択を自由にしたいという声がありました。

✓ 6. その他の意見・改善提案

- 「友達との貸し借りを禁止しないでほしい」
- 「クールビズの期間を長くしてほしい」
- 「行事(クラスマッチなど)の見直しをしてほしい」
- 「距離感に関する校則が厳しすぎる」
- 「校則をもっと話し合って決めたい」「他の学校の例も参考にしてほしい」

➡ 校則の一部を見直すことで、学校生活がもっと過ごしやすくなると感じている人もいます。

まとめ(例:発表・意見文向け)

校則については「今のままで良い」という人も多くいる一方で、スマホの使用や服装・髪型の自由について見直してほしいという意見が多数ありました。

校則は生徒の安全や秩序のために必要ですが、生徒の声をもとに、もう少し柔軟で現実的なルールにすることも大切だと思います。

生徒会や先生との話し合いを通じて、よりよい校則づくりを進めていきたいです。

6 校則についての生徒の声まとめ

(全体:約120件の回答)

✓ 1. 「特になし」「今のままで良い」...約40%

- 回答例:「特になし」「良いと思う」「今の校則の方がいい」「ちょうどいい」「今のままで大丈夫」
- コメント:「寄宿舎のルールは結構自由で面白い」「前よりかは良くなっていると思う」

▶ 評価している声も多くあり、校則が一定の安心感を与えていることがわかります。

⚠ 2. 「厳しい・きつい・細かすぎる」...約25%

- 回答例:「厳しい」「少しキツイです」「細かくて嫌だ」「校則が多すぎてついていけない」
- コメント:「生徒会と先生で話し合った方がいい」「時間のゆとりがない」「厳しすぎる、問題を起こす人が多い」

▶ 自由がないと感じる生徒も一定数おり、見直しの必要性を感じているようです。

3. スマホ使用に関する意見...約15%

- 回答例:「スマホの校則が厳しい」「校内スマホOKにしてほしい」「スマホを使わせてほしい」「検定予習に使いたい」
- コメント:「使えるようにしてくれているのはありがたいけど、もう少し自由に使いたい」

▶ 休み時間や学習用途でのスマホ使用を希望する声が多く、使い方のルール緩和を求める意見が目立ちます。

4. 服装・髪型の自由に関する声...約15%

- 回答例:「髪型を自由にしてほしい(ツーブロ、髪をおろす)」「メイクはナチュラルならOKに」「パーカーを着たい」「スカート丈や靴下を自由にしてほしい」
- コメント:「私服の小学生もいるのに高校生はなぜ制服?」「身だしなみを学ぶ機会として校則を考えてほしい」

▶ 個性の尊重やTPOの意識を育てる視点から、柔軟な対応を求める声が寄せられています。

5. 靴・登校の服装に関する意見...約10%

- 回答例:「スニーカー登校を許可制にしないで自由に」「運動靴とローファー選べるように」「白い靴下じゃなくてもいい」

▶ より実用的・快適な登校スタイルを求める声も多くありました。

6. その他の意見

- 「クールビズの半袖期間を長くしてほしい」
- 「争いのある行事(クラスマッチなど)が多い」
- 「友達との貸し借りをOKにしてほしい」
- 「校則が多いとついていけない」
- 「校則はいらないと思う」
- 「違う学校を参考にしてみ直してほしい」

提案に活かせるまとめ

校則についての意見はさまざまで、「今のままで良い」と考える人もいれば、「少し自由にしてほしい」「実情に合った見直しをしてほしい」と思っている人もいます。

【今後の提案・話し合いの方向性】

- 生徒会や先生方との定期的な意見交換の場を設ける
- 「スマホ・髪型・服装・靴」など、テーマごとに改善案をまとめて議論する
- 校則をただ減らすのではなく、「自分で考えて行動できる力を育てる校則」への見直し